

# クジラ「食べたこと、ありますか? (クジラと私たち)

## — 調べようと思っただけ —

- 私は部活動で「ディベート同好会」に所属していて、今年の大会の論題が、「クジラを捕るか、捕らないか」だったのでクジラのことを調べまくったから。
- 2014年3月に、国際司法裁判所が、南極海での日本の調査捕鯨を禁止する判決を出したことから、世界の日が気になったから。

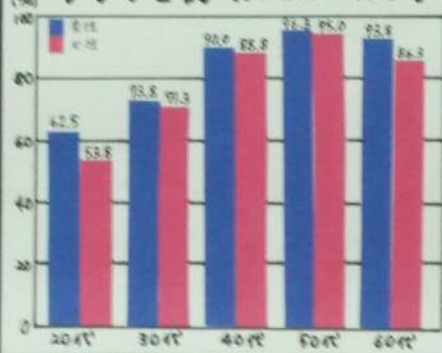
## — 調べる方法 —

- 私の住む北九州の隣に「クジラの町・下関」がある。下関市の水産課へ、インタビューに行く。
- 何でもそう、北九州の台所・日通市場のクジラ販売店へインタビュー。
- 福岡の「クジラ料理専門店・かん田や」さんへクジラを食べに行く。
- インターネットや本で情報収集する。

## — 私の周囲と予想 —

- 自分は食べたことがない。
  - 祖父母、両親は大好物
  - 同級生は給食に出たことがある(北九州市、下関市)
- ☆ 食べたい人は少ないのでは...?
- ☆ スーパーでも見かけない気がする。
- ☆ 私は魚より肉が好きなので、クジラはおいしいのかな?

## クジラを食べたことがある?



インターネット調査(案天リサーチ)より 800人対象

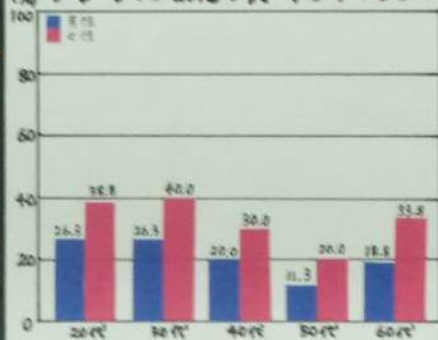
意外! 40代以降はほとんどの人が食べたことがある。若くなるほど少なくなっている。

若い世代の方が、食べなくてもよいと思っている...が、もっと割合が高いかと思っていた。



捕鯨のことを教えてくれた下関市水産課の岸本さん

## クジラはあえて食べなくてもよい



インターネット調査(案天リサーチ)より 800人対象

## クジラはおいしい? .....

食べたことのある人は、約半数が「おいしい」と思っている。これは平均値だが最も高いのは50代男性の「64.9%」だ。



インターネット調査(案天リサーチ)より クジラを食べたことのある人対象

## 実際に食べてみました

福岡の鯨料理専門店「かん田や」さん



鯨のお刺身 7点盛り



私の大好きな「鯨ステーキ」 鯨肉の比喩と、からう。

調べるだけで食べたことがないんじゃ意見も言えないので、クジラ料理、食べてきました。

クジラ料理専門店「かん田や」のご主人に来店

した訳を話すと、「7点盛り」のお刺身が追加で「9点」になりました。クジラは、歯と舌以外のは全て食べつくすことができるありがたい食材なのだそう。私は赤身が好きでしたが、皮や舌、尾や内臓

も、しょうがとおしょう油で食べ、おいしかった。私のBestは「鯨ステーキ」で、食感と味も肉みたいだった。日通の「あかだき」のご主人には、赤身の食べ比べをさせてもらった。何と年寄り鯨の方がやわらかいのだ!



赤身の試食もしました

IWCに加盟している国だけの意見ではクジラは過去の乱獲で減ってしまったから保護すべき! という考えが過半数を超えている。

## 世界はクジラを捕ることについて?



IWCに加盟せずにはクジラを捕っている国もある (アイスランド、ノルウェー、デンマークなど)

## —クジラのこと—

下関市水産課の岸本さんから、クジラについて様々なお話を聞くことができた。日本の捕鯨・鯨食の歴史は、縄文時代から始まったこと。今は捕鯨反対の国も昔は石油のかわりに鯨油を得るため、乱獲していたこと。クジラを食べ、クジラを水産資源だと思っている国々も、鯨油を利用しなくなり、保護を訴える国々としては話し合いが平行線のままということなど。しかし、あきらめずに主張し、理解してもらうことが必要だとおっしゃっている。

## —私の考え—

クジラを食べる前なら、「クジラ保護」に全面的に賛成だ、と思う。しかし、インタビュー、実際に食べてみて「鯨食文化」も大切なんじゃないかと考え替わるようになった。3人にインタビューして、皆さん同じ事をっしゃる。「クジラのこと、若い人が知りたい」と思ってくれて嬉しい。「ありがとう」と。せの中は環境保護への関心が高まっていて、私もその考えには賛成だが、乱獲せず、資源量を調べながらなら、捕鯨と鯨食の文化は認めようと思う。